



「交流」をとおして心が動く！

日頃より、本校の教育活動にご支援、ご協力いただきありがとうございます。

残すところ、2022年も今月のみとなりました。

2学期より保護者の皆様にお越し頂き、多くの学校行事を参観して頂いております。11月16日～18日の3日間、学校開放週間を実施いたしましたが、いかがでしたでしょうか？徐々にではありますが、通常の学校に戻りつつあります。

さて、今年度はキーワード「つなぐ」を意識し、コロナ以前の姿に学校を戻すことができるようにと繋いでいます。

先日は、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。現在、保護者の皆様に記載いただきました学校評価アンケートの回収を終え、集計しているところです。集計作業等が終わりしだい、分析・考察等を進め、バルセロナ日本人学校のよりよい教育活動の実施に向けて、今年度の学校評価アンケート結果を配信いたします。また、年度末にホームページ等でお知らせいたします。

さて、先月は3つの交流が行われ「交流月間」でした。1つ目は、小学部交流です。1、2年生の児童がイシドロ校を訪問し交流を行いました。また3年～6年生の児童はマラガイ校の児童75名を本校へ迎え交流を行いました。2つ目は、中学部の交流です。宮城県柴田郡川崎町立富岡中学校、マドリッド日本人学校とオンラインにて3校交流を実施しました。3つ目は、幼稚部を含め小、中学部全員で、なでしこ JAPAN の4選手（田中桃子選手、遠藤純選手、杉田妃和選手、藤野あおば選手）とオンライン交流をし、多くのことを学ぶことができました。小学部の交流では、児童が日頃学習しているスペイン語を使い、コミュニケーションを図ろうとする姿がありました。また、中学部の交流では、その土地に関わるクイズを出し合い、歴史、文化等を学び、お互いが満足し合った姿がありました。最後に、なでしこ JAPAN の4選手の交流会では、4グループに分かれ、それぞれの選手と交流を深めました。子どもたちにとっては「選手」と間近で話せて、「夢」をもつ大切さを感じ、心が動いた交流会だったと思います。終了後、「なでしこ JAPAN をこれから応援していくよ。」とか「自分の夢を早く見つけよう。」と学校中で話されている姿がありました。どの交流もとても素晴らしく、日頃味わえない体験ができた行事でした。先日5.6年生児童と中学部の生徒がサグラダファミリアを見学し、その時、彫刻家外尾悦郎様より彫刻時のエピソードやガウディの魅力、そして児童生徒からの質問に丁寧に答えていただきました。外尾様からは「希望をもつ」「人のためになることをすること」を児童生徒へ伝えていたことが印象的でした。今後も本校では、「本物」が詰まった交流をとおして、子ども達の心を動かし、子どもも教師も共に育っていきます。

結びになりますが、学校は、2学期末を迎え、生活や学習のまとめの時期となりました。年末そして師走の慌ただしい季節ともなります。それと同時に寒さも増してまいりました。ご家庭におかれましてもお子様の健康観察、体調管理にこれまで同様、ご配慮をよろしく願いいたします。



（文責 佐藤 修司）

行事予定

12月 6日(火) 憲法記念日
 7日(水) プエンテ
 8日(木) 聖母受胎の日
 9日(金) プエンテ
 15日(木) 第2回個人懇談会
 ※午前授業(12:15 下校・バス発)
 16日(金) 第2回個人懇談会
 ※午前授業(12:15 下校・バス発)
 23日(金) 2学期終業式・終園日
 ※午前授業(11:30 下校・バス発)

24日(土)～1月8日(日) 冬季休業

2023(令和5)年

1月 9日(月) 3学期始業式・始園日

めざす子ども像

バ	バイタリティに富んだ、たくましい子ども
ル	ルールを作り、守る子ども
セ	世界にはばたく、元気な子ども
ロ	論理的に考え、自ら学ぶ子ども
ナ	仲良く、助け合う子ども

【12月のめざす姿 『ル』】

○冬休みにつながるルール作り

3学期の給食開始日は、2023年1月11日(水)です。予めこの日の欠食がお分かりの場合は、2022年12月22日(木)までに、事務局までメールで欠食届を提出してください。

i Que aproveche! 給食こんだて

12月14日	crema de calabaza (かぼちゃのポタージュスープ) pizza barbacoa (ピザ) Ensalada de lechuga y pasas (サラダ)、Pan (パン)、Helado (アイスクリーム)
--------	---

¿Cómo están todos?

『さらにつながる～iPadがやってきた～』

11月10日に中学部は、宮城県川崎町立富岡中学校、マドリッド日本人学校とZoomで交流会を行いました。それぞれの地域のクイズを出し合い、それぞれの文化のちがいやそのよさを感じました。16日には、スペインに遠征しているなでしこジャパンのプロサッカー選手とZoomで交流しました。やりがいや苦労などの聞きたいことを直接選手に聞き、職業観について深めました。一人一台iPadが導入され、これまで以上に様々なものにつながる機会が増えてきます。本物に触れることで、感じること・学ぶことがあります。多様な考えや価値観に触れることが、これまでとは違う自分の成長につながります。

iPadが子どもたちの成長につながる道具となるよう、ご家庭でもぜひ一緒に開いて活用してみてください。

(今月の担当：大畑 貴裕 先生)

